

# シェール関連株オープンの運用状況

シェール関連株オープン  
追加型投信／海外／株式

2017年7月27日

石油輸出国機構（OPEC）とロシアなどの産油国が5月に協調減産を2018年3月まで延長することを決定しました。しかし、その後の原油相場は軟調に推移しており、当ファンドに組み入れられているシェール関連株は上値の重い値動きが続いています。

今回のレポートでは、足元における原油の需給や価格動向についてお伝えいたします。

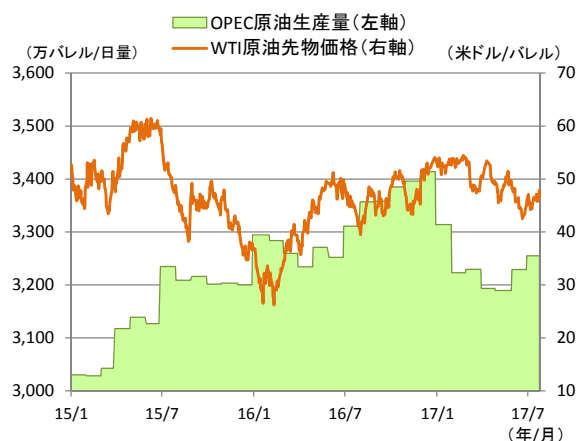
## 7月に入ってから原油価格に持ち直しの動き

原油相場が5月中旬から6月下旬にかけて軟調に推移した背景として、協調減産の延長が決定されたことを受けて原油相場のポジティブな材料が一旦出尽くしたとの見方が強まったことに加え、OPECの原油生産量が再び増加に転じたことから、中期的に世界の原油需給バランスが供給過剰になるとの警戒感が強まったことが挙げられます。

OPECは原油相場の回復に時間がかかっているとの認識の下、2017年11月の次回総会において減産合意再延長の検討が必要になるとの可能性を示しています。また、一部のシェールオイル企業が4-6月決算発表時に、今年度の設備投資額の削減計画を発表したことから、供給過剰に対する警戒感は徐々に後退していくと予想されます。これらの要因から、足元では原油相場に持ち直しの動きが見られます。

### OPEC加盟国の原油生産量と原油先物価格の推移

（日次：2015年1月2日～2017年7月25日）



（出所）Bloombergデータより 岡三アセットマネジメント作成

## 世界の原油需給は2018年にかけて概ね均衡状態が続く見通し

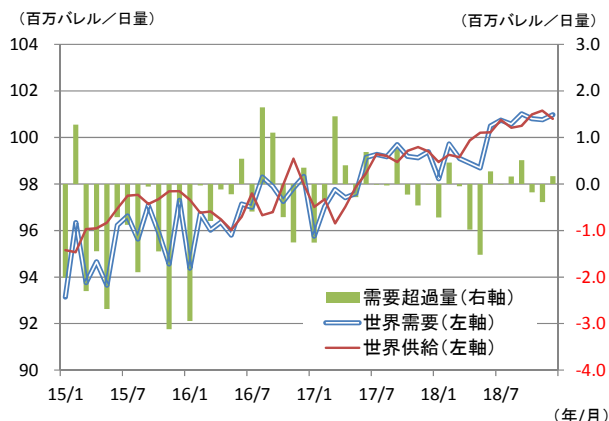
米国エネルギー情報局（EIA）は7月11日、「Short-Term Energy Outlook」を発表し、世界の原油需給バランスの見通しを示しました。

同レポートによると、2015年から2016年初頭にかけては大幅な供給超過状態が続きました。しかし、その後は徐々に供給超過が解消され、2017年に入っからは、足元にかけて需要超過の状態が続いています。

今後は世界需要、世界供給ともに年率で概ね1～2%台の増加が続くと予想されています。一時的な供給超過が見込まれるものの、中期的に需給の均衡した状態が続くと予想されるため、原油相場の底堅さは維持されると考えます。

### 世界の原油需給の見通し

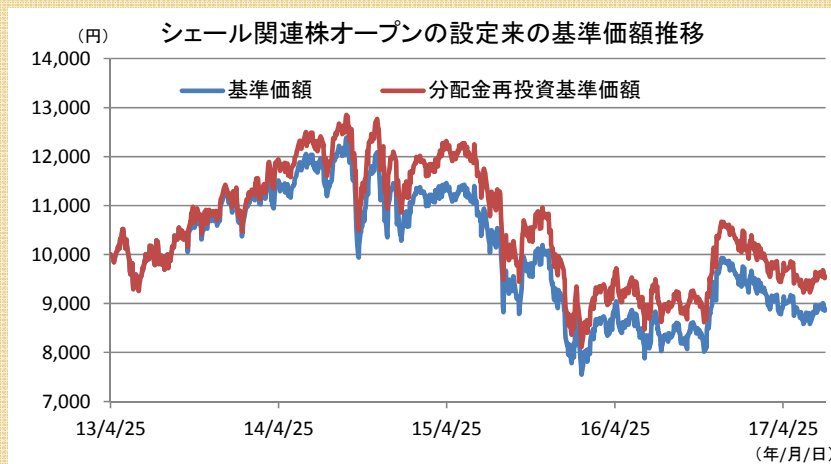
（月次：2015年1月～2018年12月、2017年7月以降はEIA予想）



（出所）EIAデータより 岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**シェール関連株オープン  
追加型投信／海外／株式**
**運用状況（作成基準日 2017年7月25日）**


※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。  
 ※組入比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。  
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。

**ファンドデータ（7月25日現在）**

基準価額(円)	8,878
残存元本(百万口)	1,650
純資産(百万円)	1,464
組入比率(%)	94.4
現金比率(%)	5.6
組入銘柄数	47

**過去の分配金の推移**

2013年10月9日	100円
2014年4月9日	300円
2014年10月9日	200円
2015年4月9日	200円
2015年10月9日	0円
2016年4月11日	0円
2016年10月11日	0円
2017年4月10日	0円

**■ 足元の運用経過について**

2017年6月の運用に関しては、シェール関連の探査・掘削株については、好業績が見込まれる銘柄を買い増す一方、株価の低迷が続く銘柄のウェイトを引き下げました。また、原油価格の低下を受けてエネルギーコスト低下の恩恵が見込まれる化学株や公益株のウェイトを引き上げました。7月以降は、原油価格の動向に留意し化学株や公益株の選別投資を継続する中、株価バリュエーション面の割安感が高まったと判断し、探査・掘削株を新規に買い付けました。

2017年7月25日現在、シェール関連株オープンの実質組入比率は94.4%、組入銘柄数は47銘柄となっています。

**■ 当面の運用方針について**

当面の運用につきましては、シェール関連の探査・掘削株に関しては、増産の継続が好業績につながると見込まれる銘柄の選別を強化する方針です。また、原油価格についてはレンジ内の動きが想定されることから、コストの低下が業績改善につながると予想される化学株や公益株のウェイトをさらに引き上げ、選別投資を継続する方針です。

（作成：グローバル・エクイティ運用部）

**<本資料に関してご留意いただきたい事項>**

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



シェール関連株オープン  
追加型投信／海外／株式

シェール関連株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国、カナダおよびメキシコの株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.674%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
  - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤証券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
三木証券株式会社	関東財務局長(金商)第172号	○			
三田証券株式会社	関東財務局長(金商)第175号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社千葉興業銀行	関東財務局長(登金)第40号	○		○	
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			

(注)販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

**<本資料に関するお問い合わせ先>**

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)